

コンセッション研究部会（第3回）

日 時：7月13日（木）15：00～17：00

会 場：JSC プロジェクトルーム

出席者

- [研究員] 萩裕美子（座長）、小松史郎（部会長）、菅野秀之、
澤内隆、福井昌平、松本眞一、宮木宗治
[オブザーバー] 間所伸圭
[事務室] 小林政則、加藤淑子、内田なお子



- 資料：・「大型スポーツ施設におけるコンセッション方式の可能性」
・稼げるスタジアムでの収益事業（月刊体育施設記事）

おもな議題

- 1) 稼げるスタジアムでの収益事業イメージ
- 2) 事務連絡（研究会メンバーの情報共有システムについて）

おもな内容

1) 稼げるスタジアムでの事業収益イメージ（小松部会長）

- ・稼げるスタジアムを実現するためには、施設貸出事業以外のアイデアが鍵になる。自主あるいは共催イベント等は日産スタジアムでは実施しているが、社会貢献の意味合いが強い。新しい発想での事業を考える必要がある。
- ・資料に収益が期待できる事業を一覧表にした。貸出事業の他、イベント事業、テナント事業、媒体事業、スポンサー事業、ツーリズム事業、パブリックビューイング事業、駐車場事業に大きく分類している。
- ・新国立競技場では、総収入の約33%にあたる12億3千万円をプレミアム会員事業（BOX等による収入）で見込んでいる。海外事例と比較すると数は少ないが、日本のスタジアムでは初めての試みとして期待も大きい。
- ・ビジネスパートナーシップ事業も、テーマパークの手法を取り入れることで固定収入が確保できる。
- ・パブリックビューイング事業も、取り組み方次第で大きな収入源になる。
- ・各事業を実現するための問題点と運営権の領域を整理し、「できるはず」の事業を提言したい。

[意見交換]

- ・大型施設のコンペでホスピタリティ機能の提案をしても、20年前には受け入れられなかった。なぜ上手く機能しないのか追跡調査はしていないが、今日まで進化していない気がする。（宮木）
- ・日本の公共のスポーツ施設にホスピタリティ機能はないが、好事例として東京ドームには海外からも相当視察に来ている。（福井）
- ・新国立競技場では大きな事業収益として見込んでいるが、果たしてそれだけの利益が得られるのか？年間100日稼働するとしても、権利等の仕組みを工夫しないと厳しいと感じる。（萩）
- ・PV事業は施設側でコントロールでき期待が大きい。通信と放送を融合させ、来場者のモバイル端

末と連動した新しい「ここだけ」の PV が可能になる。(福井)

- ・スポーツ庁ができることで、省庁の横のつながりにも期待できる。(萩)
- ・マスコミの報道で巨大スタジアムは不要の論調になっている今、新国立競技場が 2020 年のレガシーとなり得るプランを発表して、社会の誤解をクリアにしたい。(小松)
- ・実現可能なアイデアが 3 つある。1 つは東京都のスポレク祭の実施。2 つ目は私立の中高校の連合運動会。3 つ目はクラブツーリズムを巻き込んでスタンドを利用したノルディックウォーキング等は、特別な事をしなくても実現できる。(澤内)
- ・スポーツ庁の大きなミッションは医療費の削減にある。一方で、新国立競技場は建設費が 2520 億円かかると問題視されている。新国立競技場を「健康寿命を伸ばすための聖地」に位置付けてはどうか。(福井)
- ・公共施設であるが故に受ける制約がある。それを解決するための施策をセットで提案しないと、単なる提言に終わってしまう。公共スポーツ施設は運営そのものを収入で賄う発想がなく、使用料金体系も収支が考えられていない。コンセッションを実現するためには、そのハードルを越える必要がある。(松本)
- ・生涯スポーツ社会に開かれた施設をコンセプトにしてはどうか。(福井)
- ・スポーツ庁の設立目的を受けて、生涯スポーツを全面に出した提言もできる。(萩)
- ・当社で管理運営をしているのは大型コンベンション施設だが、稼げる施設にするためアイスショーやフットサル、ジャニーズのコンサートなどの自主事業を行っている。海外ではマリーナサンズが有名だが、旅行者がこの施設内でお金を落とす仕組みになっている。大型コンベンション施設も大型スタジアムも共通の課題が多いが、こうした事例が参考になると感じる。人を集める、人が集まる観点がないと、稼ぐことは厳しい。(菅野)
- ・スタジアム単体での黒字は非常に厳しいと感じる。周囲を巻き込んで全体で稼ぐことを検討したい。スタジアムの収支は稼げても儲けることは難しい。コンセッションは指定管理と異なり期間の限定がないので、サステナビリティの発想を大切にしたい。(小松)
- ・日産スタジアムは、2002 年の W 杯の際には 18 室の VIP ルームがあった。仮設のものは既に解体したが、常設の部屋は使われていない現状。野球ほど試合がなく、稼働日数が少ないために借り主がない。(間所)
- ・現場のリアルな話はとても参考になる。新国立競技場が同じ状況にならないために何をすべきなのかを検討する必要がある。スポーツ MICE と連携してアイデアを考えたい。健康寿命の観点では、血圧とスポーツと医療費の関係性は数字で表すことができる。(萩)
- ・PV は非常に有望な事業と位置付けで提言の中にプランを入れたい。スタジアム単体ではなく、地域全体で数字的な経済効果を示して世論に提示したい。新国立競技場だけでなく全国のスタジアムをどうするかは、次回の研究部会までの宿題としたい。(小松)

その他

[事務局]

- ・次回の研究テーマ等の準備会を行うことも可能。希望があれば日程をお知らせいただきたい。
- ・サイボウズ Live の招待メールを送るので参加登録をお願いしたい。